

令和6年度 第2回佐倉市廃棄物減量等推進審議会
の意見について(回答)

(1)佐倉市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて(諮問)

番号	ご質問・ご意見	回答
1	P1:(国)第四次循環型社会形成推進基本計画、(千葉県)第9次計画、いずれも第五次、第10次計画と新しいものになっているので、各計画に準じてアップデートしていただきたい。特に、サーキュラーエコノミー(循環経済)が国の政策なので、その趣旨を計画全般に入れるべき。(P42は盛り込み済、P41は古いまま)	ご意見のとおり、追記修正しました。 見通し及び目標値につきましては、国の第五次計画(令和6年8月公表)の指標値と照合出来るようにしました。
2	P3:千葉県の「災害廃棄物」、佐倉市の「震災廃棄物」の差異は何か。	内容に差異はありませんが、表記につきましては、佐倉市震災廃棄物処理計画と本計画で表記を統一しています。そのため、千葉県のものとは表示が異なっています。
3	P10:2018年の気象データだが、新しい情報が公開されているのでアップデートが望ましい。他のデータには、かなり古いものが散見される。	ご意見のとおり、修正しました。
4	P23:「厨芥」(ちゅうかい)の用語が難しい。余白にP102の用語集を参照と記載してはどうか。	ご意見のとおり、記載しました。
5	P27:電力量において、売却できるほどの発電量があるにも関わらず電力を購入する理由は何か。また最新の情報はなにか。 (廃棄物焼却の際に発生する発電や余熱利用に関して) ①発生量に対して現状の利用割合の提示と100%活用できない理由を教えて欲しい。 ⇒需要と供給バランスの問題なのか、運用システムが蓄電・蓄熱が出来ないため放電・放熱せざるを得ないのか。	ご意見のとおり、令和5年度現在の数値に修正しました。 電力を購入している理由については、焼却炉の停止後の再稼働時や点検による休止時などに売電能力を必要電力量が上回るためです。
6	P32:「雑芥」(ざっかい)の用語も難しい。用語集に記載してはどうか。	ご意見のとおり、用語集P100に追加しました。

番号	ご質問・ご意見	回答
7	P32:「5 家庭ごみの有料化の検討」について ⇒ごみ袋10枚入りは、1枚ずつ取り出しやすいように畳んで入っています。この折りたたむ作業分のコストを除くこと、またはこのコスト分は余裕があると考えてよいか。	各販売協力店舗の売り場面積の問題もあるため、今後の検討課題とします。
8	P37:前回の説明の中でリチウムイオン電池に触れていたが、分別による火災防止などの取り組みを追加した方がよい。	ご意見のとおり、修正しました。
9	p38:「30野外焼却などの禁止と啓発・指導」について ⇒建設に関する廃棄物の多くが、焼却されているのが現状です。そのため、リユース、リサイクルされない廃材が多く発生しています。「リユース、リサイクルに努めること」の文言を追加してほしい。	リユース、リサイクルについては、P34「ごみ減量化、再資源化計画」、P35「事業系ごみの減量化、再資源化計画」に記載されております。
10	P46:家電リサイクル法や資源有効活用促進法は、不法投棄対策もあったと思うが、それらの法令が不法投棄増加を招いた具体的理由を追記して欲しい。P52では「家電リサイクル法に基づき、適正な回収、再商品化がなされる・・・」と肯定的である。	ご意見のとおり、修正しました。
11	酒々井リサイクル文化センターが2033年で終了(P46)とあるが、次年度計画を鋭意検討すべき段階だと思う。	「酒々井リサイクル文化センターの今後の施設整備の検討が必要です」に変更いたしました。
12	第4章で突然「リフューズ」が登場するが、これを追加した理由を追記した方がよい。	ご意見のとおり、P47、第4章に追記しました。
13	P47:初めて「4R」が出てきたが、前は記述は「3R」になっている。前半も「4R」にするか、「従来の3RにREFUSEを追加した・・・」、または、この節でREFUSEが佐倉市の計画に追加された背景などの説明があれば、唐突感が少なくなり計画書としての整合性がとれると思う。	

番号	ご質問・ご意見	回答
14	P49(関連P43、P44、P48、P50、P51): 「気候変動とその影響に立ち向かうため緊急対策を取る」とありますが、その具体策として、「酒々井リサイクル文化センターから排出される、地球温暖化に関与すると言われているCO ₂ を補捉/回収してそれを産業用途に活用する」という技術開発の実行可能性研究(フーズビリティスタディ)を今次の一般廃棄物処理基本計画の中間見直し(案)に盛り込むことはできないものか。このシステムが実現すれば、もやせるごみの減量化に向けての自由度が大幅に広がるように思う。「佐倉市気候変動適応センター」と連携を取って、この機会に攻めの行政を実践して欲しい。	ご意見内容につきましては、酒々井リサイクル文化センター(佐倉市、酒々井町清掃組合)が担当しています。当組合の基本計画において次年度に策定されます。貴重なご意見として、当組合へお伝えいたします。
15	排出量の変化の理由を「新型コロナウイルスの影響で」としているが、これでは説明になっていない。新型コロナウイルス感染拡大により、どのように生活が変わったから、こうなったという説明が必要である。	P.59、2.ごみ排出量の予測に「リモートワーク等の増加により」の記載があるため、原文のとおりとします。
16	・P65表4-3も(国)第四次循環型社会形成推進基本計画の数値	ご意見のとおり、第五次計画の数値を追記しました。
17	・P66文章も表4-4も(国)第四次循環型社会形成推進基本計画の数値	
18	P72&P102:「低位発熱量」の観点から見ると「水切り」は不要に思う。	佐倉市、酒々井町清掃組合に確認したところ、現状の流動床式焼却炉への搬入ごみの組成から鑑みて、「水切り」は必要との認識にある、とのことでした。
19	P77:エコセメント:「アスファルト材」を追記したほうがよいか検討してください。	ご意見のとおり、「アスファルト材」の意味を包括している「路盤材」とし、追記しました。
20	P77:図4-19 2023年が極端に少なくなっている理由があるとよい。	ご意見のとおり、見込み値が5年前に想定した「見込み」となっているので、修正しました。

番号	ご質問・ご意見	回答
21	P84:2017年度末の数値が書かれているが、後半は令和5年度の数値になっています。前半の数値「2017年(平成29)年度末でまだ5%…」をアップデートした方がよい。例として「令和5年度で約4%程度残っている…」	ご意見のとおり、修正しました。
22	用語集 SSはSuspended Solidです。	(P98) ご意見のとおり、修正しました。
23	P99:「お風呂」は「風呂」の文脈表現が自然と思う。	ご意見のとおり、修正しました。
24	P100:資源有効利用促進法は本文中P[46で「パソコンリサイクル法」と表示されている。併記が必要かも。	ご意見のとおり、修正しました。
25	P101:大腸菌は改正で表示が変更されています。	ご意見のとおり、修正しました。
26	よくできていて分かりやすい。色があるのがよい。難点はSDGsのマークの字が読めないこと。	拡大したものをP103に参考資料として追加しました。
27	(見直し案に関する疑問点) ①国・千葉県の廃棄物処理基本計画等と整合性を図り、佐倉市の計画を企てたとの説明であったが、具体的な施策が属地的なものや、あるいは市民へ啓蒙するといった抽象的な表現が多く実効性が乏しく感じる。	基本計画になります。具体的な施策については、今回の中間見直しを踏まえ、年度毎に作成される、佐倉市分別収集計画及び一般廃棄物処理実施計画において反映させてまいります。
28	(見直し案に関する疑問点) ②紙類・プラスチック類・厨芥類の3種類がもやせるごみのベスト3であり、まず優先的にこの3つを減量させることが先決と感じた。そのためには、ごみの内容を詳細に分析し、市民にリサイクルできるものを分別してもらえよう具体的な方策が急務である。また、産業界を巻き込んだサーキュラーエコノミーを国・千葉県とタッグを組まないとミスマッチが起きる。	今後の市の施策の参考にしてまいります。

番号	ご質問・ご意見	回答
29	(サーキュラーエコノミー(国・千葉県との協議)を見据えた疑問点) ①近隣地域との共生でソーティングセンター(SC)設立を検討してみてもどうか。 ⇒「分別収集コスト+車両由来の温室効果ガス発生量の増大」とはトレードオフ関係にあり検討価値がある。 ⇒SCの設置場所と再商品化施設との立地状況を紐づけ、効率的な運搬体制や運搬車両の種類・台数をシミュレーションし採算が合うかどうかを検討して欲しい。 ⇒将来的な最終処分場の確保の布石として検討してみてもどうか。	今後の市の施策の参考にしてまいります。
30	(サーキュラーエコノミー(国・千葉県との協議)を見据えた疑問点) ②再商品化(ペレット)で得られる再生材の活用に向け、産業界を巻き込んで試作品制作を積極的に展開出来ないか。(手始めに佐倉工業団地企業に打診してはどうか) ⇒水平リサイクルからカスケードリサイクルへ移行し、メーカーへ購入を促す。(需要確保)	サーキュラーエコノミー事業の導入について、ノウハウを有している事業者と協議を重ね、導入についての検討をしているところです。貴重なご意見として、今後の市の施策の参考にしてまいります。
31	(サーキュラーエコノミー(国・千葉県との協議)を見据えた疑問点) ③メーカーに対し、容器包装のモノマテリアル化を義務付けることは出来ないか。 ⇒複合材はリサイクルする上で樹脂純度が下がり、再商品化の販路を狭めている要因でもある。 ⇒炭素繊維やガラス繊維が入った複合材を粉砕すると粉塵がでる可能性が高く、労働従事者に対しても労働安全衛生法上問題が起こるとの指摘もあり、自治体の回収品目リストからは除外すべきであるとの話もあるが、何か打ち手はあるか。	千葉県が事務局であり、千葉県内の全市町村が加盟している、千葉県環境衛生促進協議会を通して、国に対し、法整備の要望を出しております。 炭素繊維等の問題については、中間見直しとは違う内容になりますので、ここでの回答は控えます。ただし、貴重なご意見として、市の施策の参考にしてまいります。
32	(大雨時の河川の氾濫対策に関して) ①ポンプ式による定期的な川底や沼底を浚渫(しゅんせつ)はしていないのか。 ⇒印旛沼を含めた水質改善を目指し、回収した土砂を肥料化し無料で市民に還元してはどうか。	今後の参考とさせていただきます。

番号	ご質問・ご意見	回答
33	全体を通して:「もやせるごみ」、「うめたてごみ」となっているが、「燃やせるごみ」、「埋立ごみ」と表記した方が分かりやすいのではないか。文書後半に「燃えるごみ」、「埋立率」の表記がある。	文言の表記は基本計画策定時のままいたします。なお、ひらがな表記については、指定袋のひらがな表記にあわせています。 ただし、ご意見のとおり、次期基本計画では統一表記とします。
34	「集団回収量原単位」については、紙の使用量減という原因がはっきりとしているのであれば、見直すべきと考える。また人口減の考慮のほか、ごみの発生量に対する高齢化の影響が顕著であれば、それを勘案することも必要と考える。	2023(令和5)年度の実績値を踏まえ、修正しました。
35	目標値と見込値の設定に関して、精度の高い見込値、達成可能な目標値、両者が大きくかけ離れないよう、今後検討していただきたい。	
36	目標値の設定について、時代背景に沿った数値への見直しが必要と思う。減量化など一定の実績があり、計画通りに推移しているのは良い傾向。	
37	個人情報保護等の点で、一般家庭でもシュレッダーごみ(紙)が増えているのであれば、何か良い回収方法はないものか。	一般家庭でのシュレッダーゴミが増加しているというデータは、市では把握しておりません。そこで、ごみ収集業者に確認したところ、そのような状況は起こっていないとのことでした。